

## 取扱いの趣旨

A群β溶連菌迅速試験定性は、溶連菌感染症の診断を目的とする検査のため、治癒判定目的に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年9月30日》

288 A群β溶連菌迅速試験定性の算定について

### ○ 取扱い

溶連菌感染症に対するD012「19」A群β溶連菌迅速試験定性の算定は、原則として、1エピソード（1発症）につき1回まで認められる。

なお、溶連菌感染症の治療判定目的での当該検査の算定は、原則として認められない。

### ○ 取扱いを作成した根拠等

A群β溶連菌迅速試験定性は、上気道炎（扁桃炎、咽頭炎）や皮膚疾患（伝染性膿痂疹、丹毒等）の原因菌となるA群連鎖球菌を迅速に診断するための検査である。

本傷病名における本検査の感度は高く、繰り返し実施する意義は低いと考えられる。また、本検査は、溶連菌感染症の診断を目的とする検査であり、保険診療上、治癒判定目的での算定は適切ではない。

以上のことから、溶連菌感染症に対するD012「19」A群β溶連菌迅速試験定性の算定は、原則として、1エピソード（1発症）につき1回まで認められると判断した。また、治癒判定目的での算定は、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	香川、山形、富山、長野、千葉、岩手	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	長野、千葉	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	富山、香川、長野、山形、千葉、岩手	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・摘要欄のコメントより、一度解熱後に症状が再燃して再度溶連菌感染症を疑い、診断目的で検査を行っていることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）  
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年2月～2025年7月審査分

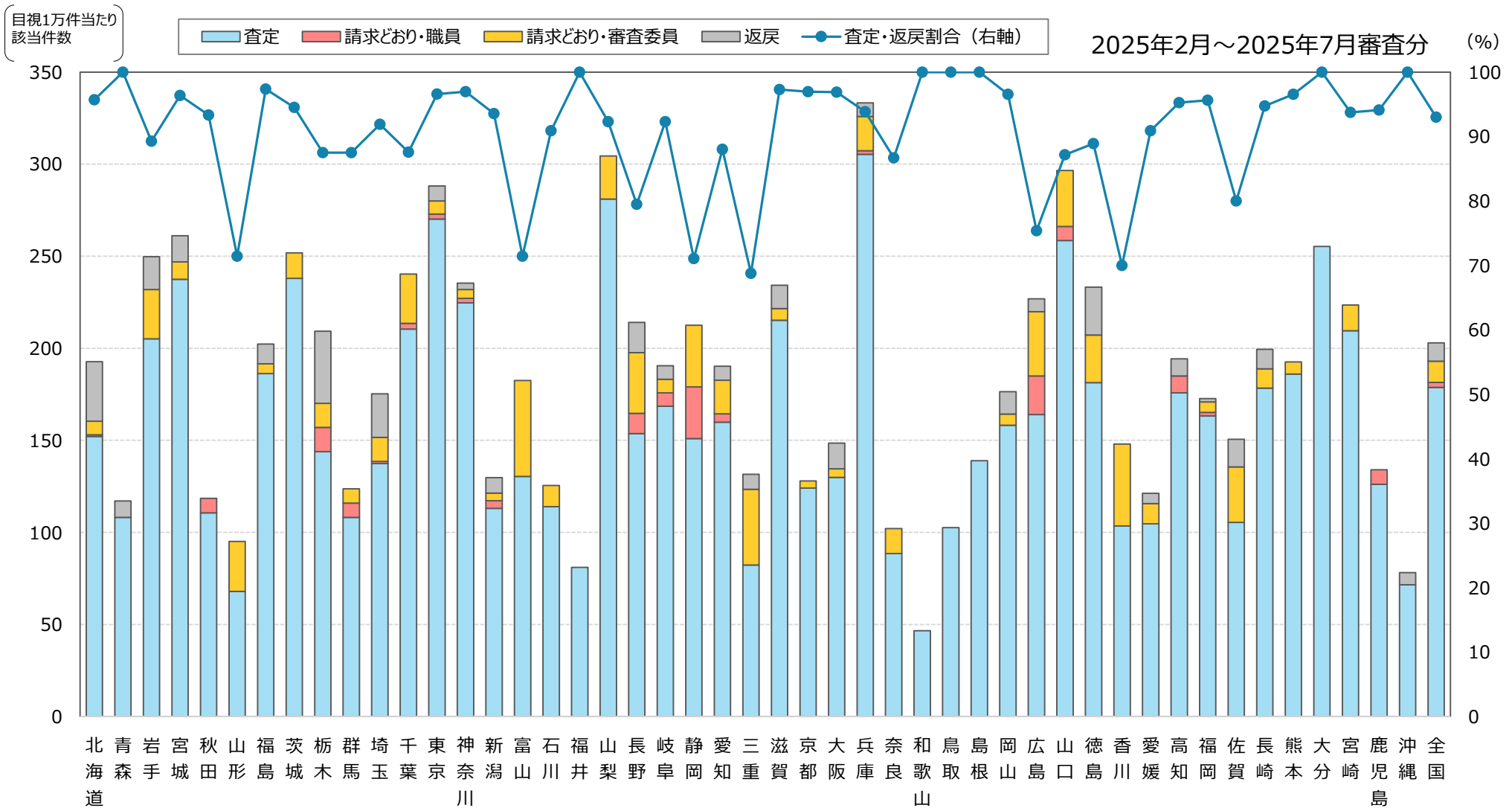
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,793件のうち、**取扱いと異なる審査は53件（1.90%）**  
検証対象15都道府県のうち、**フォローアップ対象は6都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
01 北海道	209										
02 青森	13										
03 岩手	28	25	89.29%	23	2	25	0	3	10.71%	0	3
04 宮城	55										
05 秋田	15										
06 山形	7	5	71.43%	5	0	5	0	2	28.57%	0	2
07 福島	38										
08 茨城	91										
09 栃木	32	30	93.75%	22	6	28	2	2	6.25%	1	1
10 群馬	16										
11 埼玉	148										
12 千葉	161	141	87.58%	141	0	141	0	20	12.42%	2	18
13 東京	529										
14 神奈川	197										
15 新潟	31										
16 富山	14	10	71.43%	10	0	10	0	4	28.57%	0	4
17 石川	22										
18 福井	5										
19 山梨	13										
20 長野	39	31	79.49%	28	3	31	0	8	20.51%	2	6
21 岐阜	26										
22 静岡	38	35	92.11%	27	0	27	8	3	7.89%	2	1
23 愛知	125	119	95.20%	105	5	110	9	6	4.80%	1	5
24 三重	16	15	93.75%	10	1	11	4	1	6.25%	0	1

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	37										
26 京都	33										
27 大阪	223										
28 兵庫	179										
29 奈良	15	15	100.00%	13	0	13	2	0	0.00%	0	0
30 和歌山	5										
31 鳥取	13										
32 島根	8										
33 岡山	29										
34 広島	65	65	100.00%	47	2	49	16	0	0.00%	0	0
35 山口	39	39	100.00%	34	0	34	5	0	0.00%	0	0
36 徳島	9	9	100.00%	7	1	8	1	0	0.00%	0	0
37 香川	10	7	70.00%	7	0	7	0	3	30.00%	0	3
38 愛媛	22										
39 高知	21										
40 福岡	91										
41 佐賀	10	9	90.00%	7	1	8	1	1	10.00%	0	1
42 長崎	19										
43 熊本	29										
44 大分	23										
45 宮崎	16										
46 鹿児島	17										
47 沖縄	12										
全国	2,793							53	1.90%	8	45

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数